

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園・学校番号	1218417
施設名（園名等）	目白幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

体…家庭環境に伴い、体の様々な部位を使う経験が少なくなった。遊びを通し体を動かすことの心地よさを味わいながらバランスの取れた体づくりをめざす。

<テーマの設定理由> 2. 活動スケジュール

本園は、今年創立110年を迎えた。創立当時より子どもの主体性を尊重した遊びによる保育を実践してきた。保育者の心得として、現在も「幼児から遊びを奪うな…、みだりに干渉するな…」など受け継がれている。

子どもたちは日頃より自ら選んだ遊びの中で十分に体を使い遊びを楽しんでいる。バランスのとれたしなやかな体づくりをかんがえた際、意図的に体を動かすことを意識する必要性も大切とし、このテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

1. 4月～7月

- *箱積み木、クロスハースセットなどの大型道具に親しみ、運ぶ、積む、組み立てるなどの体の動きを楽しむ。
- *運動遊びを通して、ライオン歩き(高跳び)、ワニくぐり(ビームの下くぐり)、フタの丸焼き(ビームにぶら下がる)、テコボコ歩き、金魚体操(くねらせる)ぶるぶる体操(ゆするぶる)など日常生活では経験できない体の動きを楽しむ。
- *月2回、クラスごとに体操遊びを行い、体の基本の動きを楽しむ

2. 9月～12月

- *巧技台セットを組み合わせてサーキット遊びをする。活動の中で、歩く、くぐる、転がる、跳まるなどの動きを楽しむ。
- *ネット、ボルタリング、横木など固定された道具に親しみ、使い方を教えあいながら自由に遊ぶ
- *縄遊び(丸める、伸ばす、引っ張る、とあそなど手・指の動きの他、蜘蛛の巣とび、回遊とび)
- *ボール(おくる、転がす、投げる、蹴く、入れるなど)
- *月2回の運動遊び(巧技台を使って多様な体の動きを楽しむ)

3. 1月～3月

- *約束を守り、個々の発想で自由に巧技台セットで遊ぶ。
- *表現遊びを通して、体の部位に関心を持ちクイズに答えたり知っていることを話したりする。
- *リズム、表現活動を楽しむ(こすれこすれ 等身大の自画像など)
- *月2回の運動遊び

3. 探究活動の実践

＜活動の内容＞

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり 等を記載ください。

・箱積み木やクロスバー、マセットなどの大型構成遊具は子どものニーズに応じ、自由に遊べる環境を用意している。友達と協力してイメージを膨らませ、役割分担をして遊ぶ姿が見られる。

・横木(雲梯)やホルタリングは常設ではあるが、一定の条件のもと使用可としている。ホールドや移動方法など教えあう姿が見られる。

* 巧技台は、活動内容に、多様な組み合わせにより、主に運動遊びの際使用した。

いずれの場合も、安全を最重視し、そのために発揚なルールを守ること、子どもの主体的な活動を重視することを心がけた。



4. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

巧技台活動では、コースの難易度を複数設定し、児童自身が挑戦する場所を選べるようにした。

その結果、「今日はここまで行く」「次は一段上に挑戦する」など、自ら目標を設定する姿が多く見られた。

教師が一律に課題を与えるよりよいも、自分で選択することで責任感と意欲が高まることを実感した。

また、成功、失敗に関わらず「自分でできた」という経験が自己肯定につながっている様子が見られた。

ホルタリングでは、最初の一步も進めなかった児童が足の置き方や体重移動を助言することで

ホールド一つ分進めるようになった。その瞬間の表現の変化が印象的であった。